

VI 参考資料（追加）

1 先進事例・参考事例

NO	公園名称	広場名称等	公園種別	公園面積	広場面積	特 色
1)	品川区立 大井坂下 公園	—	街区公園	約 2,329 m ²	—	区内の小学3年生～ 4年生を対象として ワークショップを実施 した結果に基づき 整備 ※P130～に関連事 項あり
2)	豊島区立 南長崎は らっぱ公 園	—	街区公園	約 5,734 m ²	—	計画の段階から地域 の組織が連携をとり ながら、ワークショッ プでイメージを積み 上げ整備
3)	渋谷区立 恵比寿南 二公園	— (通称 ぶた公園)	街区公園	約 1,890 m ²	約 600 m ²	周辺住民や利用者 の方々と約4年間意見 交換を重ねてリニュー ーアル

Ⅵ 参考資料（追加）

1) 品川区立大井坂下公園



JR大森駅東側にある、遊具主体の公園。令和3年度に公園の全面改修に伴い、子どもたちのアイデアを活用し、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行った。

■位置図

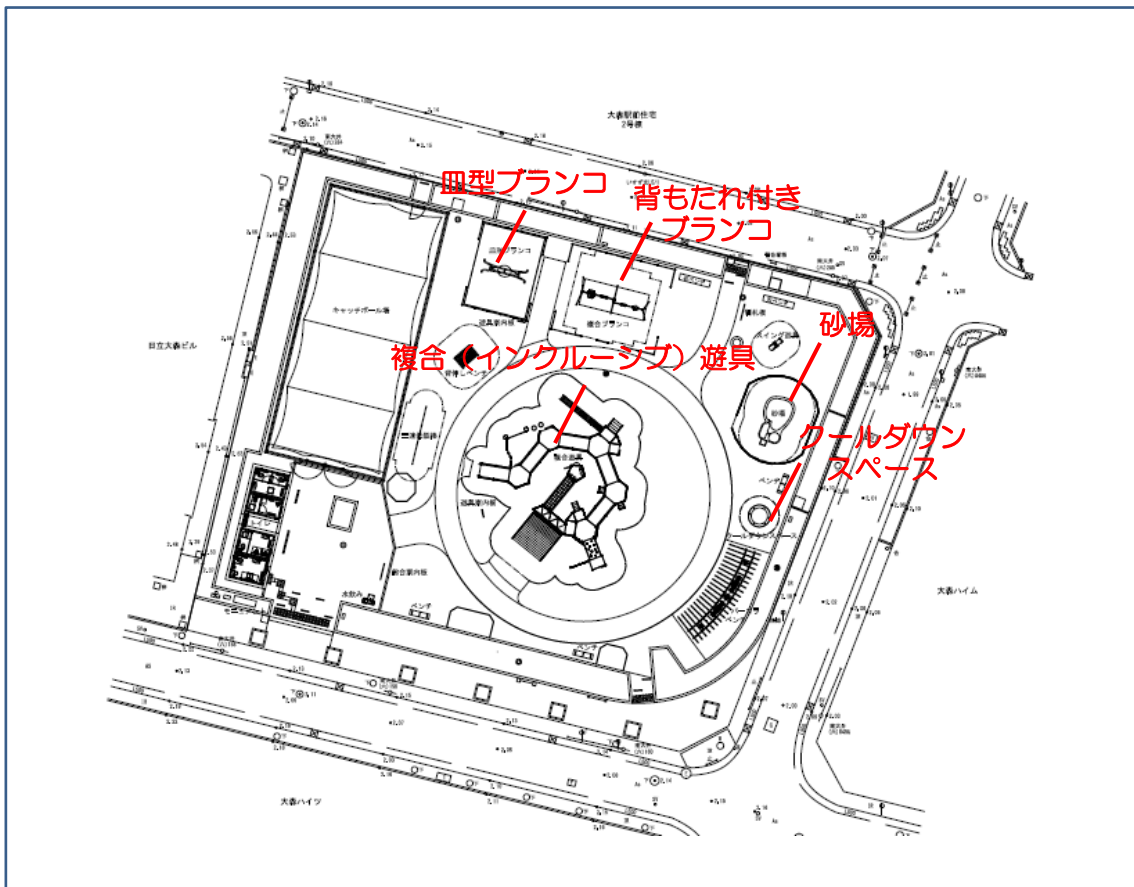


■施設概要

公園名	区立大井坂下公園	広場名	-
整備主体	品川区	管理団体	品川区
整備年次	令和4年3月	公園種別	街区公園
公園面積	2329.37 m ²	広場面積	-
整備の背景	<p>品川区基本構想「区民と区の共働で、「私たちのまち」品川区をつくる」の理念に基づき、区の未来を担う子どもたちが、自らの手で公園を計画することで、公園を身近に感じてもらうと同時に、まちづくりに参加している意識も持ってもらうことを目的とし、区内の小学3年生～4年生を対象としてワークショップを実施した。</p> <p>令和元年度から2年度にかけて計6回のワークショップを実施し、障害の有無にかかわらず、みんなが一緒に遊べる公園のアイデアについて検討を重ねた結果に基づき、スロープ等のついた複合遊具や車いすに乗ったまま遊べる砂場などのユニバーサルデザイン遊具を整備した。</p>		

<p>主な遊具等</p>	<p>複合（インクルーシブ）遊具 砂場 ブランコ 伝声管 パネル遊具 休憩施設 鉄棒 スイング遊具 等</p>
<p>管理運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常時解放、管理者常駐なし。 ・委託業者による巡回、遊具点検および利用状況確認を実施している。 ・職員やプレイリーダーは配置せず、自由に利用できる。 ・混雑時にも人数制限をかけるに至っていない。
<p>利用状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近傍に大きな公園がないため、特に近隣住民が集まる傾向がある。 ・遊具の利用において子ども同士のトラブルも少なく、順応して遊んでいる。 ・障がい者の利用には同伴者が必要であるが、一般の利用者と一緒に遊べる状況となっている。

■ 平面図



■ 主な遊具・施設

• 複合（インクルーシブ）遊具

車いすでも頂上まで登れるスロープや自分の気持ちを伝えることができるコミュニケーションサイン、並んでいるときも楽しめる複合遊具を整備。



• 背もたれ付きブランコ

タイプの異なるブランコを用意し、小さな子どもや体幹の弱い子どもが幅広く楽しむことができる。



• 砂場

高さの異なる砂場で車いす利用者と一緒に砂遊びができる。



• 皿型ブランコ

皿型の座面は体幹が弱い子どもや複数人で楽しむことができる。遊具手前には、足のマークで並び順を表示。



• クールダウンスペース

気持ちの切り替えが苦手な子どものための休憩スペース。



2) 豊島区立南長崎はらっぱ公園



公園入口からはスロープを使ってインクルーシブ遊具まで向かうことができる。

■位置図

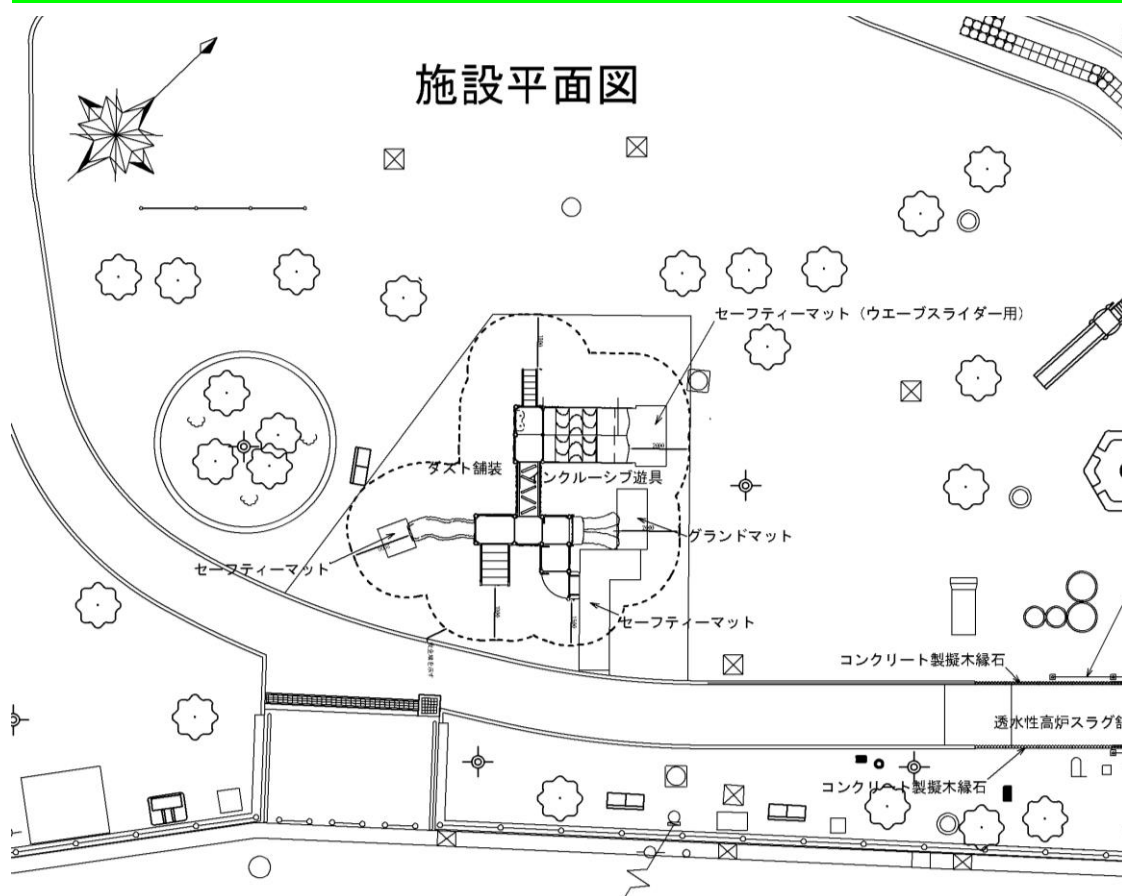


VI 参考資料（追加）

■施設概要

公園名	南長崎はらっぱ公園		
整備主体	豊島区		
整備年次	令和3（2021）年度		
公園面積	5734.38 m ²		
整備の背景	<p>かつての区営プールと西椎名町公園の一体的な整備に伴い、計画の段階から町会、商店会、南長崎4、5、6丁目防災まちづくりの会など地域の組織が連携をとりながら、ワークショップでイメージを積み上げ、「防災に役立ち、住民の交流を深め、様々な世代の人たちが楽しく過ごせる」こうした思いのこもった南長崎はらっぱ公園としてオープンした。</p> <p>令和3年度に、老朽化した木製遊具をだれもが遊べる遊具へ改修する。</p>		
主な遊具等	複合遊具 すべり台 砂場	トンネル ステップ台	鉄棒 伝声管
管理運営	豊島区公園緑地課が管理・運営している。また、地域のボランティア団体が花壇を管理したり清掃を行ったりしている。		
利用状況等	開放してから未就学児から小学生までの多くの子もたちに利用されている。		

■平面図



■主な遊具



複合遊具

- 車いすが転回できるスペースを確保（直径 1500 mm以上）
- 車いすが横付けし、遊具に乗り移りやすい階段
- 介助者と一緒に登れる幅広階段
- 滑り台下のクールダウンスポット
- 車椅子でも遊べるプレイパネル

■主な施設



スロープ

- 公園入口から遊具までのバリアフリー

3) 渋谷区立恵比寿南二公園 通称ぶた公園



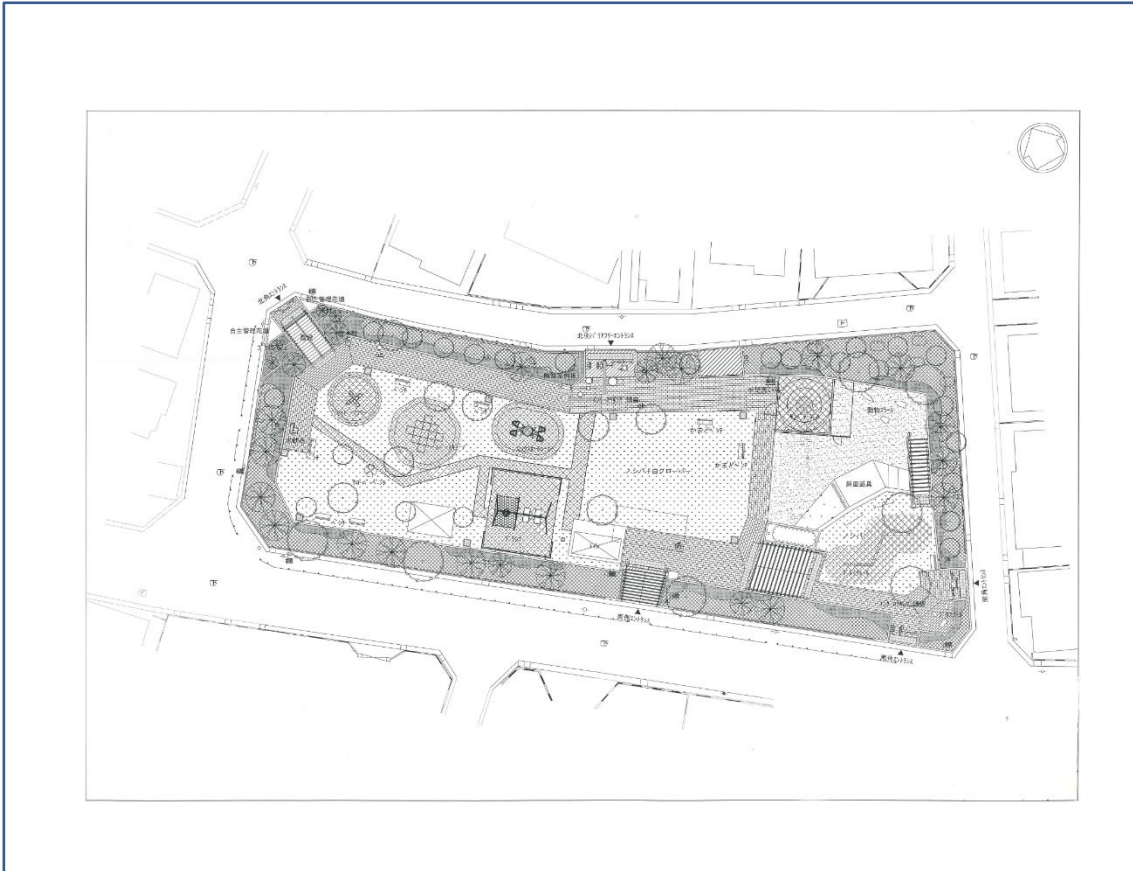
■位置図



■施設概要

公園名	恵比寿南二公園 通称：ぶた公園	広場名	—
整備主体	渋谷区	管理団体	渋谷区
整備年次	令和2年度（開園は令和3年度）	公園種別	街区公園
公園面積	約 1,890 m ²	広場面積	約 600 m ²
開園時間等	常時開園・無料		
整備の背景	<p>昭和 28 年に「向山公園」として開園され、昭和 35 年に「恵比寿南二公園」と公園名が変更された。</p> <p>その後、老朽化が進んだことから、周辺住民や利用者の方々と約 4 年間意見交換を重ね、だれもが遊べるインクルーシブな遊具や、防災機能を取り入れた公園としてリニューアルした。</p>		
主な UD 遊具等	<p>シーソー（ロックスオールシーソー） ブランコ（3連サポート付きブランコ） 砂場（サンドテーブル） ジャングルジム（スペースキューブ） 回転遊具（シャドーフラワー） だれでもトイレ</p>		
管理運営	<p>公園全体 渋谷区による管理 職員やボランティア等の常駐は無し 24時間開園</p> <p>遊具 有資格者による点検を年1回実施</p> <p>植栽 高木：委託による剪定等 中低木・地被類：直営による剪定等</p>		
利用状況等	<p>子どもから高齢の方まで幅広く利用されている 平日は、午前は近隣保育園や幼児、午後は児童の利用が多い 休日は、終日子どもの利用が多い 平日休日ともに、高齢者の散歩等が多い 夏季は、ラジオ体操が開催されている 既存の遊具（プレイウォール等）を含む全ての遊具が利用されている</p> <p>課題は芝や植栽の管理 芝エリアは利用者が多いため、衰退しやすい。そのため、養生に伴う利用禁止期間が長い。 植栽については、多種多様な植栽を導入し、彩のある植栽となっている一方管理が難しく、生育が悪い植栽も見受けられる。</p>		

■ 平面図



■主な遊具



シーソー バケットが付いていて体を支える力が弱い子どもも揺れを楽しめる。



砂場（サンドテーブル） 車いすでも利用が可能。



パネル遊具



ジャングルジム



シャドウフラワー カラーフルな影が地面に映る。



バケット付ブランコ 体を支える力が弱い子どもも揺れを楽しめる。

■主な施設



入口から案内板までの誘導ブロック。



点字の案内板。



公園の通称にもなっているぶたの手洗場。



シンプルな手洗場。



バリアフリー対応の水飲み。



クローバーベンチ ベンチの高さが異なることにより、だれでも利用することができる。



ユニバーサルデザインに配慮したトイレ



手摺端部の点字表示



車いす対応の車止め



ピクト表示